

第7回 高砂市スポーツ推進計画検討会議

平成26年10月16日(木) 19時10分高砂市スポーツ推進計画検討会議を高砂市役所南庁舎2階会議室2において開会

出席委員	議長	森田 啓之	委員	加茂 朋之
	副議長	藤原 良文	委員	松陰 英人
	委員	砂川健次郎	委員	佐藤 章徳
	委員	鎌谷 正士	委員	山田 みえ
	委員	水王 征子	委員	中村 香織
	委員	池田 政隆	委員	島本 卓

欠席委員 な し

出席事務局職員

健康文化部長	橋本 保正
健康文化部	猪子 真一
くらしと文化室長	
健康文化部くらしと文化室文化スポーツ課長	東野 哲也
健康文化部くらしと文化室文化スポーツ課主幹	福原 裕子
健康文化部くらしと文化室文化スポーツ課係長	前川 吉也

協議事項

- 1 開 会
- 2 あ い さ つ
- 3 議 題
 - (1) 高砂市スポーツ推進計画について
 - (2) 高砂市スポーツ推進計画実施計画(アクションプラン)について
- 4 そ の 他
 - (1) 今後のスケジュールについて
 - (2) 次回開催予定日
平成27年 月 日 () 19:00～
- 5 閉 会

(午後 7時10分 開会)

○事務局

皆様こんばんは。

定刻になりましたので、資料の確認を先にさせていただきたいと思います。

お手元の書類をごらんください。

(資料確認)

○事務局

それでは、ただいまより第7回高砂市スポーツ推進計画検討会議を開催いたします。

開催に先立ちまして、当会議の公開についてですが、高砂市スポーツ推進計画検討会議の運営に関する規定に基づき、公開とさせていただいております。

ただし、傍聴希望者は本日はおりませんので、よろしく願いいたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。

これより、次第により進行いたしますので、よろしく願いいたします。

まず、開催にあたりまして、議長よりご挨拶をお願いいたします。

○議長

皆さんこんばんは。

前回8月5日に会議を開いてから約2箇月たっております。その後、事務局のほうで少し訂正等をして、今日の会に最後、推進計画について確認というふうな形になろうかと思っております。スムーズに会が進むようにご協力をお願いいたします。

○事務局

ありがとうございました。

本日の会議は出席者12名でございます。

では、今後の議事進行は、議長をお願いいたします。

○議長

それでは、早速次第に基づいて進めていきたいと思っております。

まず、議題の一つ目の、高砂市スポーツ推進計画についてということで、事務局のほうから資料で説明をお願いします。

○事務局

資料1をお願いいたします。

これまでご議論いただきました、高砂市スポーツ推進計画の素案に、検討会議でご意見をいただきました箇所や、細かい字句の修正を加え、また前回、資料として提出しておりましたスキヤモンの発育発達曲線やニュースポーツの説明などを本文に入れました。また、コラムや写真などを入れて完成系の形にした案をお示しさせていただいております。

修正したページをご説明いたします。

1ページをお願いします。

第4次高砂市総合計画の後に、（平成22年度制定）を追加しました。

それと、スポーツの図に幾つかの種目競技をあげ、「など」を追加しました。

5ページをお願いします。

「誰でも」を漢字に修正し、「スポーツ団体」と「スポーツ関係団体」と用語が混在していましたので、スポーツ関係団体に字句を統一し、5ページでニュースポーツの言葉が出てきますので、6ページに高砂市のニュースポーツの説明を追加しました。

15ページをお願いいたします。

幼児期と青少年期の間にはスキヤモンの発育型曲線のコラムを追加し、字句の修正をしております。

17ページをお願いします。

地域スポーツクラブの注釈を詳しく追加いたしました。

次、19ページをお願いいたします。

燃え尽き症候群と武道のコラムを追加いたしました。

続きまして、21ページをお願いいたします。

成年期、壮年期の後にメタボリックシンドロームのコラムを追加いたしました。

続きまして、25ページをお願いいたします。

競技力の向上、（ア）に選手の発育・発達状況に応じた指導を行いながらを追加いたしました。

続きまして31ページ、32ページ、37ページは、スポーツ関係団体の字句の修正でございます。

38ページをお願いいたします。

第5章、市民が一体となった計画の総合的推進、（8）市の部分にスポーツ推進計画が円滑に進められるよう、スポーツ関係団体や学識経験者で構成するスポーツ推進会議を設置するとともにを追加いたしました。

これは、このスポーツ推進計画策定後、この計画の進捗状況の管理などを行うため、平成27年4月から新たにスポーツ推進会議を設置しましてご意見をいただきたいと考えております。できましたら、現在、この検討会議の委員の皆様方に、今後も引き続き、新たに設置するスポーツ推進会議委員をお願いしたいと考えております。委嘱につきましては、各団体から推薦をいただいた方は、団体の長への再度、推薦の依頼をいたしません。公募の委員につきましては、再度承諾書をお送りさせていただきます。どうぞ、よろしくをお願いいたします。

39ページから、参考資料として高砂市スポーツ推進計画検討会議設置要綱、高砂市スポーツ推進計画検討会議委員名簿、高砂市スポーツ推進計画検討会議開催経過を添付することといたしました。また、全体的に写真を入れ、イメージしやすいようにしました。

以上で、簡単ではございますが説明を終わります。

○議長

それでは、とりあえず確認をしながら前から押さえていきたいと思います。

特に言っていたらと思うんですが、まず1ページ目のところあたりで計画の趣旨、2ページ、この部分は特に問題ないでしょうか。ありましたら、遠慮なくその都度申し出てください。

○委員

ニュースポーツとユニバーサルスポーツは、後ろのほうで注釈が入るんですけども、出てくるのはここが最初なので、説明するならこのページのほうがいいのかと思います。

○議長

そうですね。ここでわからないですもんね。ほかの種目は大抵の人は読んだらわかるけど、おっしゃるとおりですね。

その方向で、とりあえず、ちょっとスペースをどこにするか。そして、このスポーツの概念のところ、今の入れていただけたらと思います。

○委員

2番の本計画におけるスポーツのブロックの一番最後なんですけども、目的をもった身体活動の全てをスポーツとして扱います、なんですけど、扱いますというよりも、とらえますという感じのほうがよくないでしょうか。

○議長

そうですね、確かに、とらえますですね。

それでは、第2章のところですね、ごらんください。

訂正のところは、ここ高砂市のこと、3ページから10ページまであります。文言の部分、漢字に直したり、統一したりした部分と、先ほど説明あったのはニュースポーツを高砂市で特に取り組んでいるものをさし絵的に挿入したというふうなことであろうかと思います。委員会の雰囲気の写真も挿入しているということですが、ちょっとざっと読んでいただいて、ご意見あればお願いします。

○委員

今さらなのかもしれないですけども、第2章で一番最初の文章で、少子化によって日常的に遊ぶ仲間が減少することが原因でスポーツを行わない子どもが増加しています。多分、最初からこうだったと思うんですけど、何か少子化と言っても、別に学校がすごい過疎化で遊ぶ仲間が減るわけでもないのかなと。仲間が減ったからスポーツを行わないということにはならないのかなと、今になって思いました。

○議長

なるほど、じっくり読んだらその感じが。

少子化とともにのほうが、このままの最小限の訂正でいくのなら。

いかがでしょうかね。それぐらいの趣旨。

○委員

ライフスタイルの変化でも。

○議長

それもそうですね。

タイトルが少子高齢化の進展と書いていますよね。確かに、じっくり読めば。

いい案がちょっとありましたら、今伺ったの、ここをもうライフスタイルの変化によりというのも一つあるかと思えますし。

○委員

下の（２）が生活様式の変化。

○議長

（２）がそうですね。

こっちにありますよね。

○委員

最初の文書を飛ばしてしまうとか。

○議長

これどうですかね。

○委員

休み時間や放課後は本当のことなので、これを残してどこかに組み込むか、そんなあたりじゃないかなと思うんですけれど。

○委員

これも書いていることは事実ですわね。別におかしいとは私は思いませんでしたけど。

○議長

その辺どうですかね。よく考えたら少子化によりという原因がそれで、次右側の日常的に減少っていうふうに、直にはならないけど、今委員がおっしゃってくださった。すっといけばいけないこともないかなと思いつつながら、これどうでしょうか。

確かに、趣旨は多分、少子化を言いたいんですよね。

○委員

確かに、以前に比べると子どもの数というのは全体的に減っていますから、だから、一般的にはこういうことが言えるのだろうとは思いますが。

○議長

確かに、気になり始めると気になるし。

○委員

多分、委員がおっしゃったように、休み時間とか放課後にスポーツを行わないのは、多分そのライフスタイルが変化したからだと思うんですよね。

○議長

そうすると、そっちの位置づけでいくと、下でも大体書いている事なんですよね。

○委員

1と2、今度一緒になってしまう。

○議長

そうなんですよね。

○委員

少子化自体の問題のみにしてしまうほうがいいのか。

○議長

そうですね。

○委員

休み時間や放課後にスポーツを行わない子どもが増えているということは、結局2番の生活様式の変化の中に入るとお思いますので、少子化によることで何か変化があるかということをも分述べたいと思うのは、日常的に遊ぶ仲間が減少している。プラス、その次の運動部活動については、部員数の減少ということにつながっていくと思うんです。その辺をまたちょっと文章でつなぐのは難しいかもしれませんが。

○委員

運動部活動についての部員数の減少というものは、生徒数の減少と指導者の減少で休部とか廃部というのが出てくるんですよ。部員数が減少したから休部や廃部というわけでもないんですよ。

○議長

そうですね。生徒数。

○委員

後のここらもずっと入れとったらどこでどういう言葉にしたらいいのか迷うところになっています。

○議長

結構ありますね。

○委員

2段落目のところ、3段落目以降は少子高齢化について書かれているので、分けること自体はいいと思うんです。最初の一つか二つがちょっとごっちゃになっているところだと思います。

○議長

そうしましたら、ちょっとすいません、ここペンディングで若干意図は変えずにもう一度日本語の精査を事務局と私のほうでさせていただきます。ちょっとここについては、日本語と表現の問題なので、一任をいただけたらありがたいと思います。ご指摘はもっともの分ありますので、今いただいたのを含めて、この上から7行のところ、ちょっと表現を少し検討するというので、最終案にしていきたいと思っています。

それ以外いかがでしょうか。5ページから、本市の具体的な現状と、後ニュースポー

ツの話は。

○委員

6 ページ、ニュースポーツというのが、先ほどのスーパードライブの四角の中に入っているんですけども、次のファミリーバドミントンとかからも全部なので、欄に、外に出すのがいいかなと思います。

○議長

これは、いずれも高砂のほうで大体中心的にいろいろやっているものですよ。スーパードライブは高砂で考案されていて、ファミリーバドミントンとかスーパーカラムも熱心に取り組んでいらっしゃるということですね。

○委員

これ三つかっこでとじられているけど、今委員言われたように、ニュースポーツというところの文字をもうちょっと大きくして、この枠の上へあげてすれば、三つを総してニュースポーツという形になるのと違うかな。そうしてもらったらいいですね。

○議長

少し文章にはその部分が、そうですね。一応ニュースポーツの普及とあるんですが、多分これが高砂市が力を入れているというふうなのを、そのニュースポーツというふうなところ、外へ出すことにちょっと簡単な文を説明の簡単な注釈を入れといたらわかるかなと、この三つというのが現状として今熱心にやっているやつなんだということで、そういう形の処理をしたらどうかと思います。

○委員

これだけだったら、ニュースポーツはこの三つしかないですととらえられないかもしれないので、それでしたらニュースポーツの一例とか、さっきおっしゃったように高砂市で普及を進めているニュースポーツの例。

○議長

入れたほうがいいでしょうね。

○委員

ニュースポーツと書いて、何か例としてこう三つあげて、その後にそれぞれのスポーツ。

○議長

高砂市では、これまでこういうふうな形で、スポーツ推進委員会を中心にやっている種目ですというようなことを。

それでは、8 ページ、9 ページ、10 ページ、SWOT分析、グループ協議をしたところの部分、ここについては、なかなか整理は難しかった部分ではありますが、できる限り重ならないような形でここに至っているというふうにご理解ください。

注釈を先ほど出ましたユニバーサルスポーツ、もしここで必要であれば、最初のほうに出ているので何ページ、前掲で何ページを参照というふうにしといてもいいかと思

ます。

それでは、とりあえず第2章、第3章のほうに入っていきたいと思います。

基本理念と目標の部分、11ページ、12ページです。ご意見があればお願いします。

それでは第4章、13ページ以降、大きな訂正は先ほどの説明ではありませんが、若干追加をしたところ等、もう一度ちょっと日本語も見ていただきながら、気になるところがあれば遠慮なくご指摘ください。

○委員

13ページのこのライフステージに応じた推進のイメージ図なんですけど、これ文字がガタガタになっている。

○議長

大きさが。

○委員

いや、字が崩れているのが気になるので。

○議長

そうですね、作り直したほうがいいですね。

○事務局

パワーポイントでつくったものをここに貼りつけたので、そうするとこうなってしまう状態です。

○委員

印刷したときに全部きれいになるんですね。

○議長

ちょっとそこは、もう少し美しく。

○事務局

また、印刷したときはきれいになると思います。

○議長

というふうなことで、多分、最初の1ページの図もそうなんですけど、ちょっと潰れかけている部分があるので、見やすくということ。

○委員

写真も本紙にはきれいにみえるようになっているということですか。

○議長

その辺は、これ写真はどんな感じになるんですかね。

○事務局

それは、予算と。

○議長

との関係やね。

○事務局

カラーが増えるとやっぱり高くなっていくのかなと思いますけど。予算の関係で白黒にしないといけないかなと思ってはいますが、最初の表紙はカラーでしたいなと思っています。人の顔とかがわかってしまいそうなところは、ちょっとぼやかしたようにできるのかどうか、業者と相談します。

○議長

何をやっているのかがわからない写真ではちょっと出す意味もないので、そのあたりはカラーにする必要はないかもしれないんですけど、何かうまくしていただく方向でお願いします。

例えば、16ページのスポーツチャンバラも、これはコピーだからだと思うんですけど、黒くて見えにくいということも多分出てくると思うので、書式的なものですが。

○委員

スポーツチャンバラだけれど、真っ黒けですね。

○委員

スキヤモンのこと、中学生の部分なんですけど、3行目、有酸素運動などを十分に行い「持久力をつけること（ねばり強くなること）」、かぎカッコがない。

○議長

そうですね。

つけるまでかね。上を見たら「動きをつくる」というのがありましてかっこできているので、多分これつけるにして。

○委員

下に「力強くなること」かぎカッコで囲っているところがある。

○議長

そうですね。ちょっと統一しないとだめですね。「動きをつくる」「持久力をつける」「力強くなる」というのが、こととかぎカッコの位置関係があるので、多分、どうですかね、一番上の「動きをつくる」でかぎカッコにそろえといたほうが、持久力をつけるでかぎカッコで、こと取って、ねばり強くなるでかっことして、そこでというふうな形で、一番下は「力強くなる」ことというふうな形でいけばいいかなというふうに思います。ありがとうございます。

○委員

今のところなんですけど、コラムの位置なんですけど、後ろのほうで先ほど追加があったもの、発育・発達状況に応じた指導を行いながらという、25ページにそういうのが本文で触れられているので、そちらのほう場所としてはいいのかなと思いました。

競技スポーツの推進のところ、競技力の向上の中に選手の発育・発達状況に応じた指導を行いながらで、じゃあこれはなんぞやというときに、コラムが隣にあればわかりやすいのかなと。

○議長

そうですね。

これちょっと私の個人的な感覚なんですけど、14ページの③とかあたりとも絡まないことはないんです。でも、どちらも幼児期の部分から小学校期というの、でもおっしゃる部分も、どっちのほうがいいですかね。これ、どっかのタイミングではと思いますが。

○委員

前のほうが、今のほうがいいんじゃないですかね。

後ろだと競技力で見られてしまうので。

○委員

トレーニングと書かれているので、もしここに置いたらもうちょっとぼやかしたほうがいいのか、トレーニングと競技スポーツをちょっと思い浮かべてしまうので。

○議長

一番最初に、成長の度合いに合わせてトレーニングの内容を変えていくことが必要になりますというところの表現が、そうですね。

○委員

細かいですけど、内容も有酸素運動とか、力強くなるという結構トレーニング思考の内容になっているので、この部分だとしたら、ちょっと穏やかな感じの書き方のほうがしっくりくるかなと思いました。

○議長

ちょっとここについては、いろんな文献であるので、ここの幼児期とか青少年期の部分で表現に少し合わせる形で、でも大枠は変えないように、もうこの段階ですとあれなので、最初の3行ぐらいのところをちょっと表現を、またほかの出典を見て検討させていただきます。

○委員

ちょっと気になるところがありまして、ゴールデンエイジの後、何をやってもすぐできてしまう年代という、これもどうですかね。

○議長

これも正直なところ、相当アバウトな表現になっていると思います、確かに。即座の習得の話とゴールデンエイジの話はどんぴしゃ、イコールの話でも正直はない部分は確かに言われると思うので。

そのほか、どうでしょうか。16ページ、17ページ、青少年期の取組ということで、スポーツに触れる、あるいは学校体育の充実等、先ほど出ました、今度19ページにまたコラムがございます。

これもそうですね、先ほどニュースポーツのところで、でもニュースポーツはコラムと書いていないですね。スキャモンのところもそうなんですけど、コラム1とか2とかって数字を入れときましましょうか。外へ出しといたほうがいいのかもわからないので、ちょっとそのあたりは書式を整えます。

○委員

コラムに番号つけるということですか。

○議長

はい、多分それのほうが。

○委員

コラムの。

○議長

あれも違います。

○委員

最初が四角と変わってきますけどね。

○議長

そうですね、そのあたりも。

○委員

しないといけないと。

○議長

そうですね。そういう書式の部分を含めて。

この今回入れていただいた武道振興大会は、どこの協議会、どの辺りとの関連と理解したほうがいいですかね。

○事務局

武道振興大会、これは体育協会の6団体が集まった大会です。

○委員

武道団体協議会という、今下があいているから、それにいわゆる柔道、剣道、空手、少林寺とか、そういう高砂市での種目入れたほうがわかりやすいのと違うかな。今これだけの種目で武道団体協議会をつくっておりますというのを。

○委員

入れていただいたほうがいいかも、わかりやすいので。

○委員

武道団体協議会と書いとるけど、これ剣道と。

○委員

二つしかないのかなという解釈。

○委員

だから、柔道、剣道、少林寺拳法、空手。

○委員

合気道、相撲。

○委員

そうでしょう、相撲もでしょう。それ全部入れておいてあげたほうがいいです。

○事務局

ここに写真を入れたのは、④運動・遊びにチャレンジする機会ということがありましたので、武道振興大会が、いろんな種目を体験できる機会だったのでイメージがわくかなと思い入れました。

○議長

それで拳法体験とか。

今の事務局の説明でしたら、これ体験事業ととらえていいんですかね。

○事務局

はい。

○議長

だから、いわゆる主目的にやっているところの写真という意図ではなくてということなんですね。

○委員

スポーツ、その柔道、スポーツに触れる機会づくりというのがあるから、場所としたらそこらあたり。それと、体験というのをもっとドンと出して写真を貼りつけたらどうかと思います。

○委員

それと、コラムのところで、高砂市では、昔から武道に熱心な指導者が多くあり、中学校においても必須化に伴いということがあるので、学校教育の一環としても、武道教育に力を入れているという、こんな関連はちょっとあるように思います。

○議長

意図はそうでしょうね。

○委員

2行目の日本の伝統的スポーツですという、ここの伝統的、文化という文字を入れといていただいたほうがいいかもわかりませんね。

○議長

これかっこづけにしますか、どうしますか、スポーツというの、厳密に。

○委員

ちょっと武道とスポーツは違うところありますからね。できたら、何か。

○議長

でも、また1ページのところに、その部分もあるんだけど、とりあえず武道も柔道も剣道もスポーツと言っちゃいましょうよとしたので、ここそういう意味では、ご理解をいただけたらと思います。

○委員

運動大好きG o G oプラン、私が知らないだけかもしれないんですけど、どういうことをしているのか、いまいちイメージがわかなくて、学校のこれ授業の一環ではなくて

課外活動のようなものですか。

○委員

いや、授業の中でもです。例えば、体育の始まる前のラダーをしたり、サーキットしたり、いろんなスポーツを取り入れて、体育授業のほうもやっていきましょと。もちろん、駆け足とか、とにかく体力を上げるために、能力だけじゃなくて好きにさせていこうというような計画を各学校がやっているんです。

○委員

今していただいたような説明か何かがあったほうがいいのか。

○委員

学校教育課のほうから、市のほうから受けているんですけど、A4の1枚のもので図案化されたものはあるんですけど、それをここに載せると、ちょっと多すぎるなと思うので。

○委員

子どもの体力運動能力向上事業として、下の注釈にもこれがあるからね。

○議長

そうですね。学校体育全体、学校としてあらゆる体育的活動の中で、これをやりましょということでご理解いただけたらと思います。

そうしましたら、多分、写真ばかりのページができないよううまく散りばめようと思われたんだと思うんですが、先ほどから言った、もしあれでしたら、ここ武道というふうなコラムとの絡みでとすれば、武道振興大会というネーミングが多分もしかしたら、体験ということとはちょっとマッチングしないのかもしれないなというふうにちょっと。

この団体が少林寺拳法体験を企画してくれていますというだけのほうが、すっと入るかなというふうな感じもちょっとするので、ちょっと検討をしてみてください。

それでは、20ページからの今度は大人のほう、後22ページ、23ページあたりはいかがでしょうか。

○委員

具体的ではないんですけども、やっぱり考え方としては子ども、青少年とかの部分になるべく運動に取り組むことによってメリットがあるということを述べていましたので、壮年期とか、いきなり年取ってから運動に取り組ましょ、そういうふうには書いてませんが、もう少し若いときから運動をすることによるメリットというか、結局どれだけ早く始められるかとか、そういう楽しめるような習慣を持つことが生き生きとした高齢期につながるというふうなニュアンスの部分をもう少し強くしたらどうかなと思います。

少しそれが、だから、健康寿命の延伸につながりますという部分はあるんですけど、もう少し踏み込んだ部分があったほうがいいのか。

○議長

今言われてる分は、2行目、3行目の部分のどこ、あたりの表現をもう少しメタボリックシンドロームのことがコラムにもあるし、少し学校を卒業した後も積極的にすることというふうな、何か部分をもうちよっと入れたほうがということですね。

多分、今でいけば軽く体の健康づくりの面からもって入れてるんだけど、もう少しそこというふうなことですかね。

○委員

はい。

○委員

ここに小さいときからのスポーツが大切ということを入れるということ。

○委員

サラリーマン世代のことを書いてますよね、こういう忙しい世代でも運動することが大事、それは何か入ってるんですけど、もう少し忙しいんだけど、その時期から始めてることによって、もっと高齢期にメリットがあるよというふうな、もう少しあったほうが。

成年期は、スポーツを取り入れ、心身のリフレッシュを図っていくことが大切となります、と、これは、今のその時期のことを書いてるじゃないですか。その時期も大事なんだけど、この時期にやることによって、将来プラスになるという文をもう少しつけたらいいなど。

すいません、何か具体的なことを出さないで。

○議長

そしたら、言われてる部分は、ちょっと最初の一段落の部分、前のところ、少しまた事務局と一緒に検討を若干、趣旨は変えない形で今のご意見を反映するような表現を考えさせてください。

なかなかずっと出てこないの、わかります、多分次の高齢期につながる上でも、こって大事ですよみたいな、そんな意味づけをちょっとしたほうがいいよというご意見というふうには。

○委員

要するに、今の活動が壮年期、高齢期につながりますということ。

○議長

わかりました。

そうしましたら、22ページ、23ページあたりどうですか。

○委員

写真の上に、例えば高齢期の取組の例とか、何かそういう注釈があったほうがいいと思います。ここに限らず、その前も成年期、壮年期やったりするのでとか、何もなしで写真が出てしまうと、何やろうとなるので、詳しい説明は要らずに1行だけでいいと思うので。

○委員

この写真このまま使われますか。

○事務局

今はこれを使う予定です。何かほかにあれば。

○議長

今のご意見は何かちょっと。

○委員

すいません、右下のいきいき健康体操、ふさわしくないかなと。長座で手をあげてるんですけど、高齢期にはちょっと合わない。

○議長

実際にやってるのは、もうちょっと若い人。

○委員

よくわからないんですけど、これ高齢期の人がこれだと、私の個人的な意見ですけども、高齢だと思われるとちょっと。

○委員

高齢期となったら、これグラウンドゴルフにしたって、トレーニング教室にしたって、スーパードライブにしたって、誰でもできるスポーツだから、高齢期だけの例とあげるのはどうかなと。

○委員

この動き自体が高齢期にふさわしくないというか。

○委員

ですから、高齢期の取り組む例としてあげたら、委員が言われていた、その注釈というか、見出しをつけたら。

○議長

つけると、そこへなっちゃうということなんですね。

その辺、もう写真は写真で。

○委員

一々説明つけていたら、もう全部が。

○議長

そうしましょうか。いろんな見方を。

○委員

固定されたスポーツになってしまいますからね。

○議長

これはそういう意味では。

○委員

全部できますよね。

○議長

そうですね、これ難しいとこですよ。

○委員

実際、小学校でグラウンドゴルフ放課後にやったりしてますから。

○委員

高齢者でもね。これまで、あんまり詳しくしなくてもいいん違うかなと思うんです。さっと流してよろしいね。

○委員

そうですね、さらっと流したほうがいいようですね。あまり細かく。

○議長

そうしましたら、今のような形で、確かにここのページにとかというのが、なかなかどんぴしゃというのが限定されない写真が多いので、そういう風景だというふうに、いろんな形でとらえられる可能性もありますが、位置づけるということでは、いかにさせてください。

では、24ページ、25ページ、26ページあたり。

ユニバーサルのほうの表現、後、用意いただいた事務局のほうで、この車いすバスケット、このあたりで今のところはいいですか。

それでは、後26ページ、27ページ、このあたり、組織、環境の部分のあたりですが。

先ほど、委員が言われた、28ページとかもそうですね、写真、これドッジビーの写真も、ここにと考えだしたらもう切りがないですね、本当に。

でも、恐らくそういう形で文字だけじゃないような方向で、適当に写真を、高砂市の状況の風景を、スポーツのシーンを入れているというふうにご理解ください。

では、30ページぐらいまでいかがでしょうか。31ページぐらいまで、大体見ていただいて。

そうしましたら、32ページから36ページまで、地域の活性化ということで、イベントを融合させながら、連携させながら積極的にというふうな趣旨の記述です。それで、それにかかわる写真が、ここは結構具体的にイメージをしてもらうためにということでは出ております。

またちょっとありましたら、後から戻っていただいても結構です。

最後、第5章、説明がありましたら、一番今回の部分で追加として大きい部分が38ページの(8)の市というところの部分の記述です。

スポーツ推進会議というふうなものを設置していこうというふうな記述が入っています。これ、この名称で仮称にしてなくてもいいですか、大丈夫ですか。

それがアンダーラインも引いていただいておりますので、追加として重要な部分と。ちょっと私も打ち合わせのときにうっかりしとったんですが、この記述を入れると、どっか

に、図のどこかに入れたほうがいいかなという気もちょっと大きく矢印が右に出てる、スポーツの推進の上ぐらいに、多分これって市長からの諮問会議みたいな位置づけですかね、そうではなくて。

○事務局

今と同じ、今の検討会議と同じような形を考えております。

○議長

そうすると、どっかに何かうまく。

この円の中にかかわるところとはちょっと次元が違うところにあったほうがいいですよね。

○事務局

市の今やってる会議ということで。

○議長

じゃあ市（行政）の中に。

○事務局

会議をやります。それがスポーツ推進会議です。

○議長

というふうなイメージ。

ということで、図を解釈をしていってはどうかということです。いかがでしょうか。ちょっとこの部分のご意見をいただけたらと思います。

○委員

それでしたら、まるで囲んでいるこのスポーツ推進委員とはまた違うのですか。

○議長

そうですね。スポーツ推進委員とは違って、まさに今回は推進計画のためにいろんなところから集まっていた、あるいは公募で集まっていた。こういうふうな趣旨の会議を計画をつくるだけじゃなくて、それがうまくいってるのかどうかを大局的に見ながら、チェックと後検証みたいなのも、その都度必要な事項があれば協議をするみたいな位置づけとは思いますが。

○委員

何か文言が一緒なので、スポーツ推進委員がやる会議をスポーツ推進会議と思いがちです。見方、文言が一緒なんですけど、スポーツ推進委員というのは、もともとは違いますよね。

○委員

今まで体育指導委員と言われてた人がスポーツ推進委員。だから混乱してしまう。

○委員

何となく文言が一緒なので、スポーツ推進委員がやる会議をスポーツ推進会議と混乱する。全然違うものですよ。

○議長

これかぎかつこで、例えば高砂市、多分ネーミング的には高砂市スポーツ推進会議になりますよね。かぎかつこで「高砂市スポーツ推進会議」を設置しと、もし名称がそれで大体いくのであれば、そうすると少しは、違う感じにはとらえられるかなと思うんですが、いかがですかね。

問題がなければ、もしその名称がまだ正式じゃない、でもそんなものがあるということでは、仮称を入れたらいいんですけど、その方向で市としても大体絵を間違いなく描いているということでしたら、もうかぎかつこつきにしておけば、それでも若干スポーツ推進委員という誤解も若干あるかもしれないんですが、別項にあるので大丈夫かなとは思いますが。

○委員

この図の中に、スポーツ推進計画の位置づけというのがあって、この推進計画に基づいて市がいろんな施策をする、また方針を決めるというようなものです。この市の行政の中に推進計画を入れて、その下にでも会議、会議の名前かっこ書きで入れる。

これ自体が、まず推進計画の位置づけがどうなるかを見えないけど、入れないといけないのかなと。

○議長

そしたら、これスペース的にはちょっと大きくなるんですが、もう市（行政）の部分の丸を、ちょっと大き目にする中で、今スポーツ推進計画、四角で囲んでいるところ、後、それを受けた高砂市スポーツ推進会議あたりをちょっと記述として入れる中で、今のご意見を反映させたいと思います。

○委員

すごい細かいですけど、市民がこういう連携とか協働で行われるスポーツ推進に参加、参画というのを、このたびこの矢印と市民をつけたほうがいいんじゃないかな。ちょっと市民が何かベースにあって、この参加と参画、誰がというふうに見えたので、重ねるとかのほうが、市民というのも強調できるかなと。

○議長

この矢印を市民のところにはひっつけるということですね。

○委員

はい。

○議長

そうしましたら、参考資料のところは一定の書式というか、通常の大体の中身を入れていきますので問題はなかろうかと思いますが、全体を通してありますでしょうか。

今いただいた若干の修正、字句とか後ちょっと文言の修正の部分は一任いただいて、それをこの計画の案という形で教育委員会、後市議会等で報告をさせていただくというふうにしたいと思います。ご了解いただけますでしょうか。

○委員

順番というか、今気がついてしまったんですけど、目次ですけど、かっこの位置が違いますよね。これはレベルが違うという意味か何か。

○議長

いや、多分これ特にはないですよ。

○事務局

そろってないだけです。

○議長

そうですね、ありがとうございます。

○委員

すると、両かっこの使い方が、例えば3ページと比べていただくと、2ページのほうは、全角のかっこ、3ページのほうは半角のかっこです。章によって違うのかなと思いつつながら見させてもらってたんですけど。

○議長

はい、そうですね。ありがとうございます。今のご指摘はごもっともで、そこも含めて最後確認を。

○委員

2ページの表ですけど、平成27年度の下にきてるのは、どうも見にくい気がするんです。

○議長

これを右側にまだ。

○委員

端に落とすとか。

○議長

端に寄せたらいいかなというご意見。これは多分、簡単なことと思うので、はい、ありがとうございます。

それでは、貴重なご意見ありがとうございました。

それでは、一つ目、高砂市スポーツ推進計画の案のほう、お認めいただいたということで、次に移りたいと思います。

2番目ですが、今度高砂市スポーツ推進計画実施計画、通称アクションプランと言いますが、それについて、進めて議論をしていきたいと思っています。

まず、資料2をごらんください。

事務局のほうから説明をお願いします。

○事務局

今後は、各年度ごとに実施計画、アクションプランを策定し、高砂市のスポーツ推進を図ることとなります。

事務局より、市で行っている各課のスポーツ、運動の調査をいたしました。それを、スポーツ推進計画の施策体系ごとにまとめたものが資料2でございます。

それぞれの取組の方法ごとに、実施主体の欄には各課名を記載し、市が主体でない場合は課名と主体団体名をカッコ書きで記載しております。その横に取組の方法に対応する概要、目標を記載しています。その横に、平成27年度を取組内容を記載し、平成27年度から平成31年度までの計画期間内の各年度を取組状況と予定を記載しております。

この状況をもとにアクションプランを作成いたしたいと考えております。皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

以上でございます。

○議長

今日初めてこれが出てきたので、何のことか、位置づけ難しいなというふうにお考えだと思っておりますので、少し補足をさせていただきます。

先ほど議論をいただいた、高砂市のスポーツ推進計画というのは全体の基本理念を踏めて基本目標とか、どういう方向でこの5年、10年を進んでいくかというふうなものです。

これだけでは具体的に年度でどんなことをしていこうかなというのは、ちょっとわかりづらいので、多くの場合ここにアクションプランと書いてますが、大体年度でこんな進め方をしようみたいなものをつくっています。

スタイル、書式については、もういろいろで事務局のほうで今回つくっていただいたのは、こういう表形式の分なんです。こういうふうなまとめ方をしている市もあります。あるいは、一方では表形式ではなくて、必要なことを、この計画のような形に添って、それを詳しくしているところもあります。

さらには、推進計画ではなかったんですが、やはりと言ったらちょっとよくないんですけど、数値目標というのが今いろんな中で多いと思います。例えば、週に1回する人のパーセントをととか、子どもの数をこうだとか、体力図の数字を上げますよとか、そんなふうなのを盛り込んでいるところも市町によってはあります。

そういう意味では、何がどういうやり方をするかというのはないというふうにもまずご理解をください。基本は、まず、5年間で取組をこんなふうにしていきますというふうなものだにご理解いただいた上で、恐らく初めて見られますので、私自身もこのスタイルがいいのか、後こういう表現かというのもまだ決めかねているところです。打ち合わせで事務局からお話はあったんですが、こういうふうな形でやることでアクションプラン、具体的な進捗が図られるものになっていくかどうかも含めて、いろんな角度から結構ですので、お気づきのところ、今日残りの時間で言っていただけたらありがたいです。

○委員

まずスタイルについてですか。

○議長

いや、もう中身も含めてです。

○委員

取組の方法のところで、この推進計画と統一されていると思うんですけど、再掲というのは取ったほうがいいんじゃないかと思えますけれど、それぞれについて書いてあるので、中身も多分違うので、タイトルとしては再掲でも、これは再掲は要らないんじゃないかと。

○議長

全く別なのかな。今言われているのは、例えば3ページのですよね。

○委員

そうですね、3ページの③親子のできる運動の推進は1ページの幼児期にもあるんですけども、中身は違うので。

○議長

中身は違うのか。

○委員

内容は違うので。

○議長

一緒のものもあるし、これ。

一つ目は確かに、そうですね。

ちょっとそこ確認しながら作業します。

そのほかどうでしょうか。

○委員

平成27年、取組内容ですけども、具体的にこんなことをやってるという記述と、後ちょっとわからないようなところが混在をしてるんですけど。

○議長

おっしゃるところはわかります。

○委員

枠の関係で全部、指定管理者に共通事業なんかあげられないから、これで一くくりにしてると思うんですけども。

○議長

これ事務局のほうに伺いましたら、こういうふうな計画に基づいて、各課実施主体のところに該当することについて、取組内容等を出してくださいというふうな依頼をしたんです。

○委員

そのまま載せているだけのことですね。

○議長

それを各課の了解も得ながら、同じ表現にしないといけない部分があるかと私も思います。

今日はちょっとこれを見て、遠慮なく、私はあえてあまり言わないので、これを見て感想でも意見でもいいですので、初めてのことなので、一言ずつでもいただけたらありがたいと思います。

○委員

これやっぱり年度の継続というだけでなく、具体的に何かもっと書いていったほうがいいのではないですか。

もう少し細かくというか、具体的な中身を、箇条書きにでもしていくとか、何かしたほうが、漫然と続けてるなという感じに受けとめられかねないのでという気はします。

○委員

これはどなたに向けて何を一番知らせたいものなのか、そこだと思えますよ。市民の方がこんなことをやって、どれに参加できるとか、そういうふうに見るものだったら、例えばここに子ども参加オーケーとか、子どもの欄に丸が入るとか、そういう使い勝手と言いますか、どこにどう出したいんですか、これを。ただ、資料としてつけるのか、こういう計画がありますよということだけを見せたいのか、それによって作り方が変わってくると思います。

○議長

まず、推進計画のそうなんです、基本的にはいろんな方々のご意見を伺いながら、市としてこんな方向でやりましょうと。その今度はもう少し具体的な、まさに事業とかを説明しながら、ここで例えば取組の方向と書いてるところの中身をはっきり明示していくというのがアクションプランです。

そういう意味では、多分おっしゃることよくわかるんです。この形式でいくと、いわゆる行政として粛々とやっていきますよということは、すごいわかりやすいんですけど、特に何をこの後、どこをフォーカスしてやっていくとか、そういう部分はちょっと見えにくいですね。当然、継続して今までのところはありますというのはいいけど、この計画の中で特に強調した部分はここで、新しくこんな方向で数年かけてやりますよみたいなものがなかなかわかりづらいと私も少し思います。

そういう意味では、基本的には市民に読んでもらいたいのは大前提です。

○委員

それでしたら、せっかくここでカテゴリーを分けてますよね。ですから、それごとにもう少しこの子どもの部分はここにこういうのがあって、ここを一番強調しますよという、そういう書き方をしていたほうが多分いいと思いますし、継続もこのこれにかけてどういう方向にということを出していったほうが、やります、やりますというだけではわかりにくいんじゃないでしょうか。

○委員

何か、いろいろ言っただけなんですけど、書き方としたら、例えば前2年でこういうことをやって、後3年でこういうことやりますとか、何か2年間でこういう具体的にこういうことをやって、3年目以降、何かそれを充実した格好でこういうふうなことをやりますよと、何かそういうタイムスケジュールみたいなアクションプラン、そのほうがわかりやすいのかなという気がするんですけど。

だから、これ今のものは初年度だけを書いてまして、それもざくっとした書き方なので、それを具体的になおかつ5箇年だったら5箇年計画のこういうスケジュール的なことを今は考えてますよということ、そういうものを書かせていったらどうかなとは思いますが。

○委員

質問いいですか。

これ先ほど聞いたとおり、この計画実施とか、計画するとかは、各課から出たものを直接書いてあげているわけですね。

これを出して、また各実施主体がこれは検討するべきだとかいうふうに直す余地はあるのかないのかですね。

○議長

もう核心的な部分、事務局が苦労されたところにあるんですが、もうご存じのとおり今年10月下旬で、来年度の中身については、基本的にはもう大体予算等は確定しているので難しいと思います。

そういう意味で、次年度以降に向けて、今は現状としてこういうふうにして、それを踏まえて具体的には平成28年度からの実施に向けて、こういう部分をと、委員のおっしゃるあたりの検討をしていくよみたいな記述がここに乗っかっていけば私はいかなとは思っているところです。

○委員

このまま出たら何も変わりなく平成31年まで続けていく、推進会議の意味もなくなるんじゃないかなと正直思ったんです。

○委員

基本的なことで申し訳ありません。

ここに平成27年度も継続と書いてあるところは、平成26年度も実施されているということですね。検討とかということは、これから始まるプランで、ほとんどが今現在もやられているということですね。こんなにたくさんいろいろあるのかと。

○委員

この全体のことをこの会議だけで提案はできても、さあやるかやらないかは、全然わからないですね。

実施主体で同じような取組内容があらうかと思うんです。そのあたりの整理が必要と私は思いますけども。

○議長

そういうご意見、まさにごもっともだと私も思います。

恐らくこのアクションプランを確定する上では、やっぱりここで議論した具体的なことを踏まえて、ある程度検討の余地があるよというふうな形の示し方しかできないかなとは思いますが、予算のこともありますし。

でも、計画を踏まえて少なくともこういうふうな方向の具体を、例えばダブっているものは精査するとか、先ほども何か幾つかあるんですが、ここで計画のほうで書いているところをもう少し具体的に表現し、計画化していくことのほうが大切ではないかなと私もちょっと思いながら、まずは今日はこういうふうな示し方だったら皆さんどうですかという、すごいちょっと無責任な投げ方なんですけど。

今伺ったように、だから継続、継続、継続ばかり出て、打ち合わせのとき私も行政のやること、やっていることの説明ではいいのですが、何か新たな5年、先ほど委員も言われた、どこへ向かって新たな展開をしているのかがわかりづらいし、何か調べたことはオーケーなんですけど、後そのあたり新たに、あるいは今やっていることの点検をするとかいうような部分がもう少し、私も別のところで違う方式でアクションプランをつくったことがあるんですが、まずは事務局のほうでこういう形式で出していただいたので、これについて皆さんもどんなふうに思われるかというふうな形で、今日のところは決定ではないので、いろんな観点でご意見をいただけたらいいかと思います。

まず整理しましたら、一つは具体的な取組内容という、平成27年度という欄も記述がちょっとばらつきがあるぞというふうなご意見。もう少し、この5年間というのであれば、進行具合みたいなことがわかるようなもののほうがいいんじゃないかというふうなご意見。

○委員

現時点の現状というのはこれでわかるんですね。実施主体のほうも、このスポーツ推進計画をまだつくっている最中だから、これ何も検討もしてないし、これがどのように反映されるかも決まってないから、当然今のままで現状はこうだというのはわかるんですけども、平成31年度までなっているところが一つひっかかったもので。

○議長

実質平成28年度からの実施に向けて、アクションプランをというふうに考えていただけたらと思います。

それもありまして、先ほど事務局のほうでももうこれは決定をしているようですが、スポーツ推進会議というふうなものを継続的に、この推進計画がゴーサインが出た上で、またさらにそれを具体化するものをつくっていくというふうなことに。

先ほど言いましたが、教育委員会とか市議会等への報告というのは、この推進計画のほうですね。アクションプランについては、今回出すわけじゃありませんので、まず今日のところは現状というふうにはまずご理解いただきながら、次回の会議で少しちょっと

これの、私自身ももう少し事務局と打ち合わせをしながら、どういう表現がいいのかをまた考えますが、多分、これはこれで置いて、違うバージョンをつくらないといけないなどは個人的には思っています。

これは、今やっているところ、ああこれだけあるんだなというのはいいことで、後特に今やっているところのどの部分を強化するのかとか、あるいは新規はどうするのかというあたりは、この計画をつくった皆様のご意見は意見として出してもいいかと思いません。

そのあたりで多分なかなか意見が出にくいと思いますので、今伺ったところを踏まえながら、次回に臨みたいということでご理解をください。

○委員

このアクションプランは毎年更新していくものなんですか、それとも最初につくったら。

○議長

推進計画の2ページをちょっと見てください。

これも一般論とご理解いただけたらと思いますが、2ページに計画の期間というのがあります。10年間で中間評価ってありますよね、大体5年ぐらいのスパンで考えていこうということで、そういう意味で今回も5年ぐらいのところでのイメージを、現時点でのイメージを。

当然、その都度これ予算がどうなるかもわからないですよ、厳しくなる場合もありますが、基本的には今と変わらない状況のいろんな支援があるとすれば、こんなふうに進めていったらいいのと違うかっていうふうなところですよ。

○委員

プラン自体は、最初のままで5年は変わらない。10年は変わらないというふうな。

○議長

そうですね、この計画自体はつくったら、この方向に向けてやっていきたいと思います、そんなふうにご理解ください。

○委員

後、評価が2回あるんですけど、評価をどうするかとか、何ができたらオーケーかだめかというのも、何か。

○議長

ここの部分も難しいところなんです、実際に。

今回、いわゆるアンケートで数値的にとらえてるようなものはないので、一番それが書類づくりの上ではいいんですけど、そういうふうな観点ではなくて、まさに各団体とか、後いろんな指導者とかも含めて、現時点からどういうふうに変わっていったのかというあたりの観点は、また平行して考えねばならないと思います。

そうしましたら、今日の時点ではこの推進計画の具体の5年間計画みたいな、具体的

事業の方向を示すようなアクションプランというものをつくっていくというふうにご理解ください。

その部分が今後のスケジュールでその他事項の1番にあります、ちょっとそこも含めて説明をちょっといただけたらと思います。

○事務局

資料1の42ページ、検討会議の開催経過をごらんください。

本日の第7回目の検討会議後、教育委員会、市議会への報告を予定しております。

また、次回の検討会議が最終の会議となります。スポーツ推進計画の最終版をお示し、またスポーツ推進計画の策定と一体としてアクションプラン案について、皆様からご意見をお伺いしたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

また、来年度設置するスポーツ推進会議の設置要綱をお示しいたしますので、ぜひよろしくお願いたします。

以上でございます。

○議長

第8回ですね、今ありましたが、このアクションプランのことも含めて、もう少し検討したものをお示しするような形で、事前にこれも出していただけたらと思いますので、ご理解ください。

それでは、何か質問等ありますか。

○委員

実施主体がですね、5年間でそのままかと言われたときに、何か考えてほしいと事務局が出したときかなり困ってしまう。来年は新しい活性案を出していかないといけないとなったら、そういうのを推進会議のほうで、何を各実施主体に求めているのかということ、具体的に言ってあげないと、新しいものをつくっていかないといけないというような感覚でされても、絵に描いた餅しかないと思うんですね。

それぞれの主体団体の目標を書かれて、もともとがスポーツ推進計画というのは、スポーツを楽しめる人たちを増やしましょうみたいなことが一番多いんじゃないかと。すると、例えば高砂マラソンでも入ってますけど、市民の参加者が年々増えていくような計画を立てていくとか、事業自体を広げていくという、啓発していくのが推進計画だと思うので、そういう意味合いも主体団体にお伝えしていただいたほうが、何か違う種目とか、新たなものとか、何かつけ加えていかないといけないのと違うかな、これが議長がおっしゃるように、数値目標何パーセント以内、この年度啓発していきたいとか、そういう意味合いも5年間、10年間で、推進計画自体の意味づけをちょっと各種団体にも理解していただいたほうが、どんなことをします、5年、10年間でどうしますと言われても、多分戸惑っていると思うんです。

○議長

ご意見ありがとうございます。

それでは、最後に次回の開催日について、調整をしていきたいと思ひます。

(日程調整)

○議長

それでは、1月29日ということでお世話になれたらと思ひます。

次回までに、またこのアクションプランの部分も、推進計画自体はもう確定をされますが、そのアクションプランと対応させて、また現状はこうなんだなというのを、ちょっと一度こんなことをやっけるんだなということで、全体を通して見ていただけたらと思ひます。

事前に新規バージョンはまたお送りする予定にはしますが、年明けて。またぜひとも、先ほどいただいたことも含めて、議論がうまくできたらと思ひますので、よろしくお願ひします。

それでは、本日予定の議事はこれで終了いたします。

それでは、事務局のほうに進行を戻します。よろしくお願ひします。

○事務局

それでは最後に健康文化部長から閉会の挨拶をお願ひします。

○事務局

(あいさつ)

○事務局

それでは、これにて散会いたします。

ありがとうございました。

(午後 8時57分 閉会)